

誰一人取り残さない個々の可能性を支える学び

令和4年8月31日(水) 教育委員会

1. 第2回会議について

2. 草潤中の成果と他校への展開について

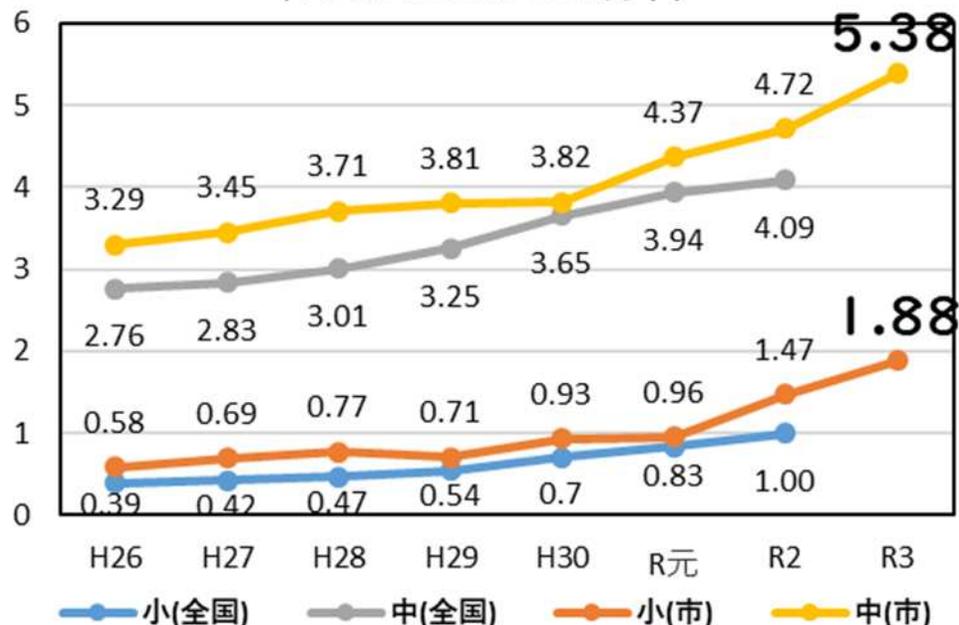
1. 第2回会議について

1-1. テーマ設定の背景

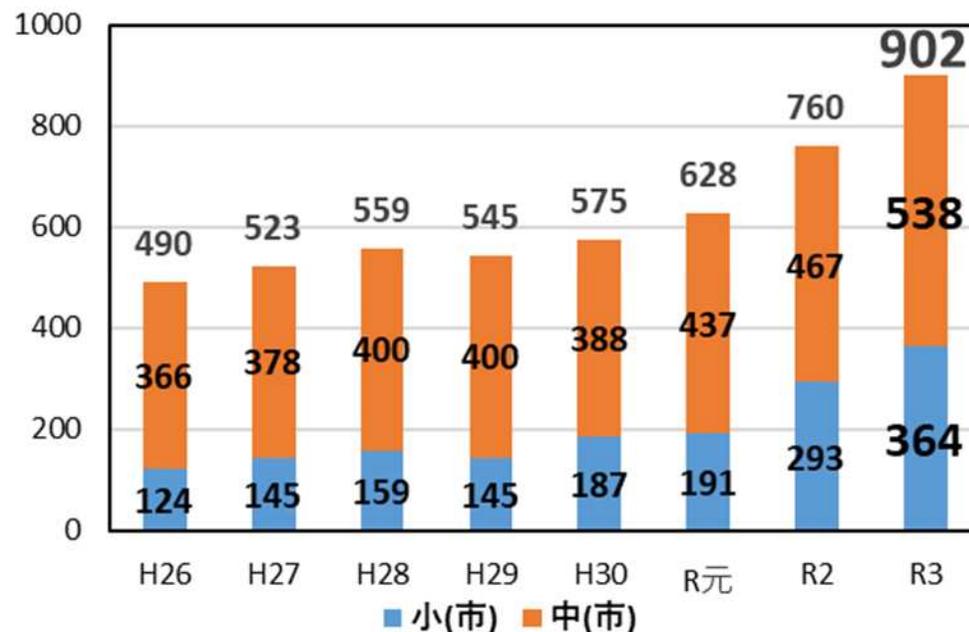
- 不登校児童生徒は全国的に増加しており、本市においては出現率の高さと増加傾向が課題

不登校児童生徒出現率(全国・市)

(100人当たりの出現率)



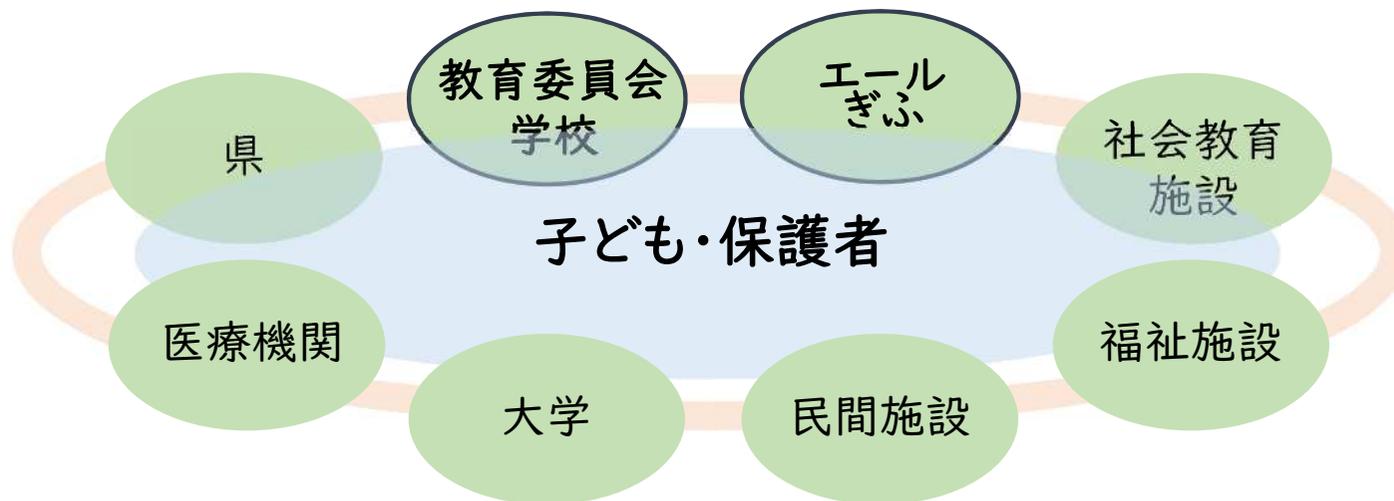
不登校児童生徒数(市)



多様な学びの機会の提供や、個に応じた様々な支援など、不登校対策・不登校児童生徒への支援に関する施策を実施しているものの、本市は全国と比較して出現率が高く、また増加傾向が続いている。

1-2. 本市の取組

- 教育委員会・学校、エールぎふを中心に様々な機関が連携し、手厚い不登校対策・不登校児童生徒への支援を実施



○ 教育委員会・学校における主な不登校対策・不登校児童生徒への支援策

- ・日々の学校生活における取組（生徒指導、相談室での支援、家庭訪問、よいことみつけ他）
- ・多様な支援人材の配置

教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、スクール相談員、ほほえみ相談員

・草潤中学校の開校（R3年度） → 約7割の生徒が登校

- ・社会教育施設（少年自然の家、青少年会館）におけるサードプレイス機能の拡充
- ・ICTを活用した『子どもの健康』サポート推進事業（本年度実証）

1-3. 不登校対策・不登校児童生徒への支援の充実に向けて

- 特例校である草潤中学校の取組によって、多くの子どもたちが学校に通えるようになっている

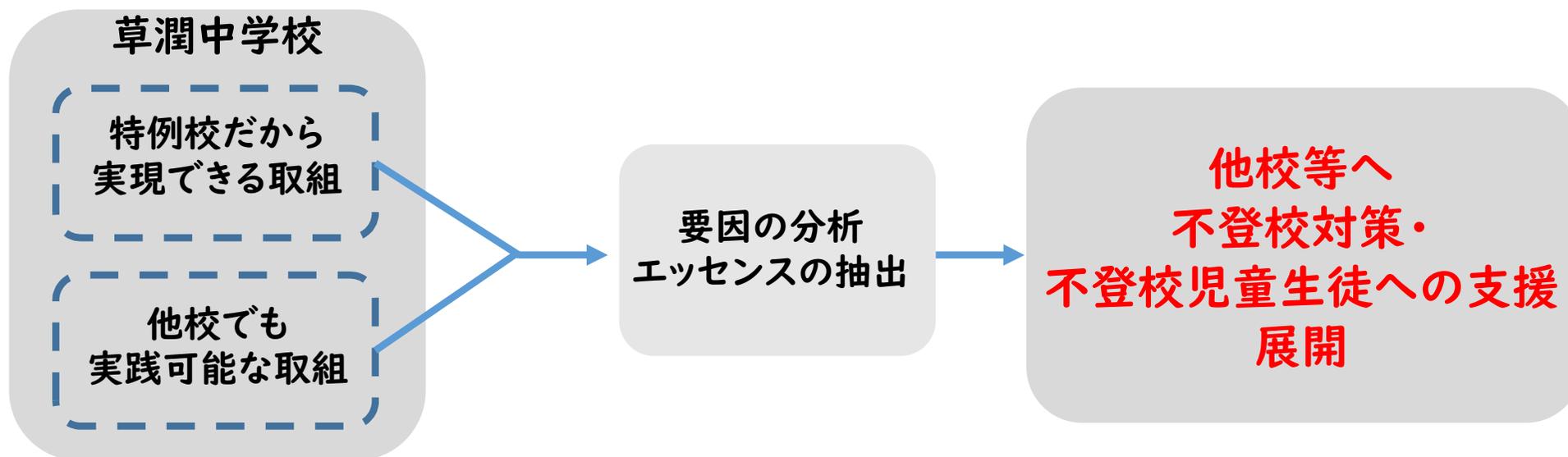
草潤中学校生徒の約7割が継続して登校

➡ なぜ草潤中学校には通えるのか？

草潤中学校の取組の中に、

子どもたちが通えるようになった理由や要因があるはず

草潤中学校で取り組む様々な実践の知見・エッセンスを活かし、
本市の不登校対策・不登校児童生徒への支援の更なる充実を図る必要がある



1-4. 論点整理

- 本日は、主に以下の事項について、ご協議いただきたい

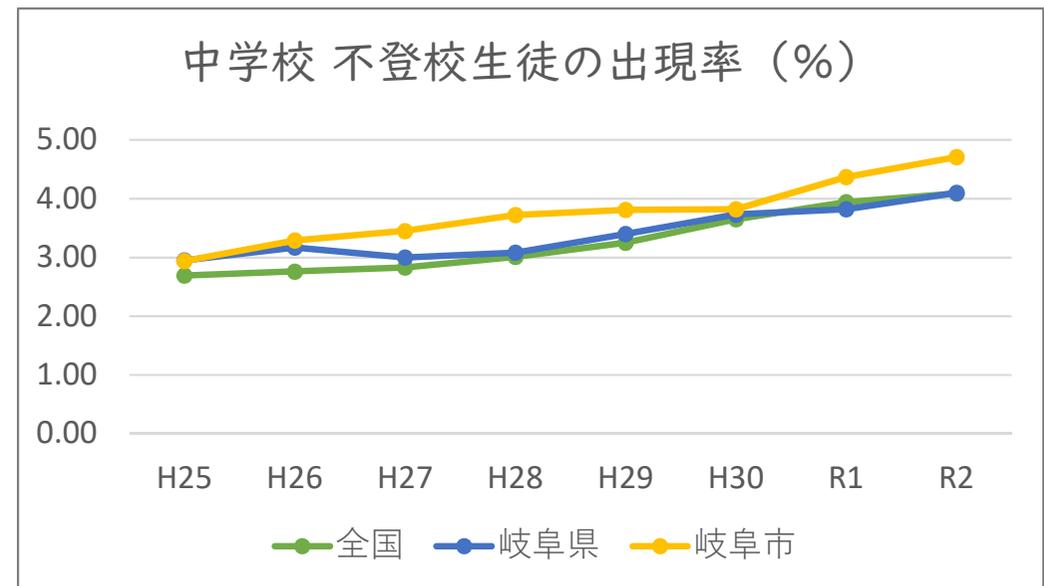
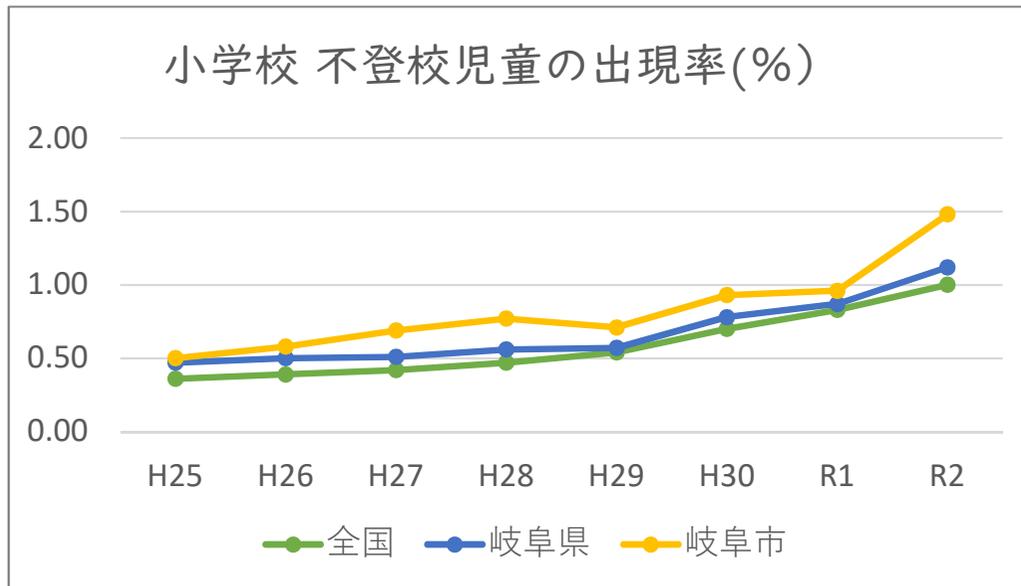
学びの保障の観点から、不登校対策・不登校児童生徒への支援を
更に推進していくために取り組むべき施策、方向性について

2. 草潤中の成果と他校への展開について

2-1. 不登校の現状 ~草潤パッケージの展開~

●不登校児童生徒の出現率の推移

本市の不登校児童生徒の出現率は、**県平均・全国平均よりやや高い傾向**



(文科省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より)

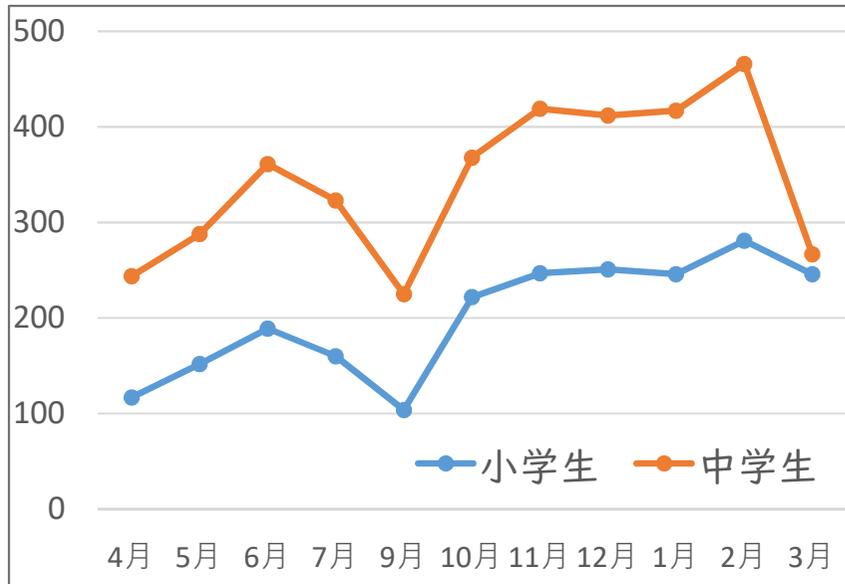
令和2年度 不登校児童生徒数は過去最多
全国 19万6127人 (うち岐阜市 760人)

コロナ禍で生活リズムが乱れやすくなり、友達との交流が減ったことも一因!?

2-1. 不登校の現状 ~草潤パッケージの展開~

●本市における不登校児童生徒の欠席状況

令和3年度 不登校（年間30日以上欠席）のうち、月に7日以上欠席した児童生徒数の月別推移（岐阜市）



（「岐阜市 不登校児童生徒の状況報告書」より）

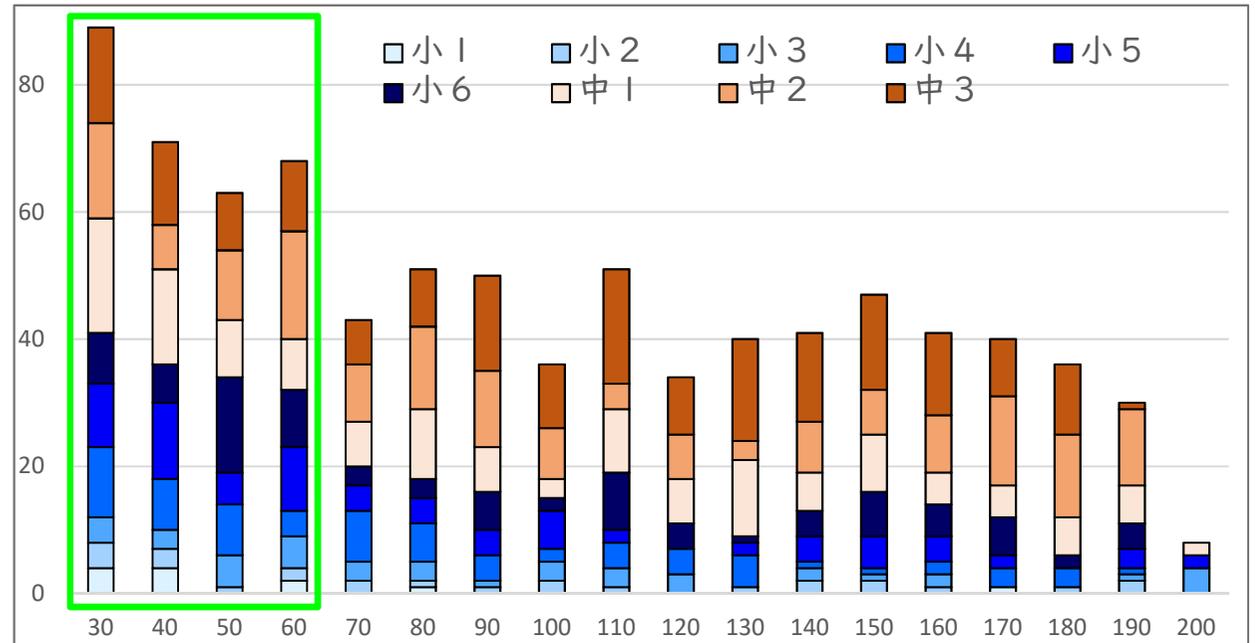
4月以降、欠席者数が徐々に増加するもの、9月は欠席者数が減少



しかし、10月に欠席者数が急増

きめ細やかな支援の必要性

令和3年度 欠席日数別の不登校児童生徒数（岐阜市）



（「岐阜市 不登校児童生徒の状況報告書」より）

年間欠席日数30日以上70日未満の生徒数が多い



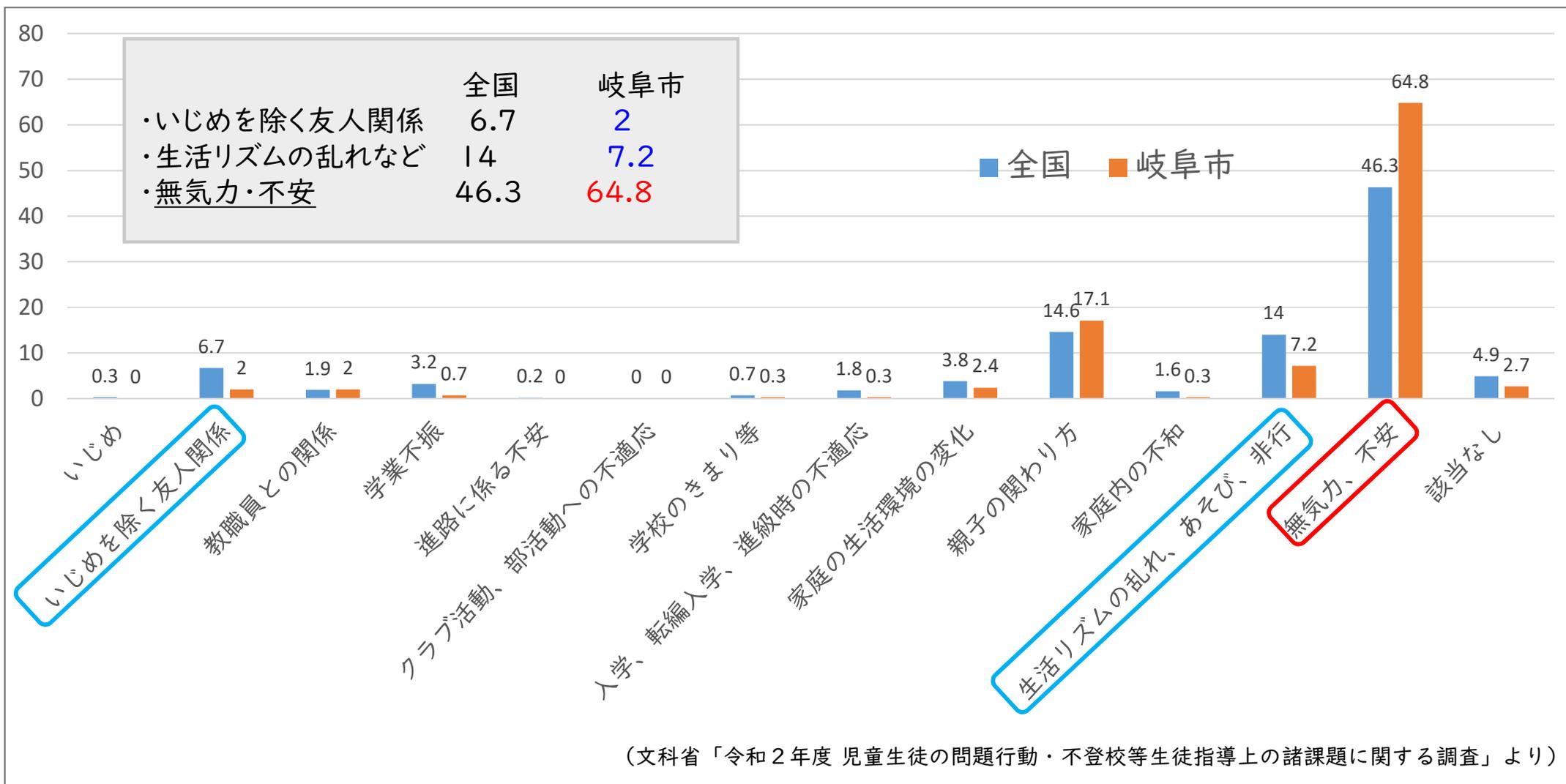
不登校の期間が長期化による生活習慣の崩れ、人間関係の歪み、身体の不調など

早期発見・早期対応の重要性

2-1. 不登校の現状 ~草潤パッケージの展開~

●小学校の不登校の主な要因

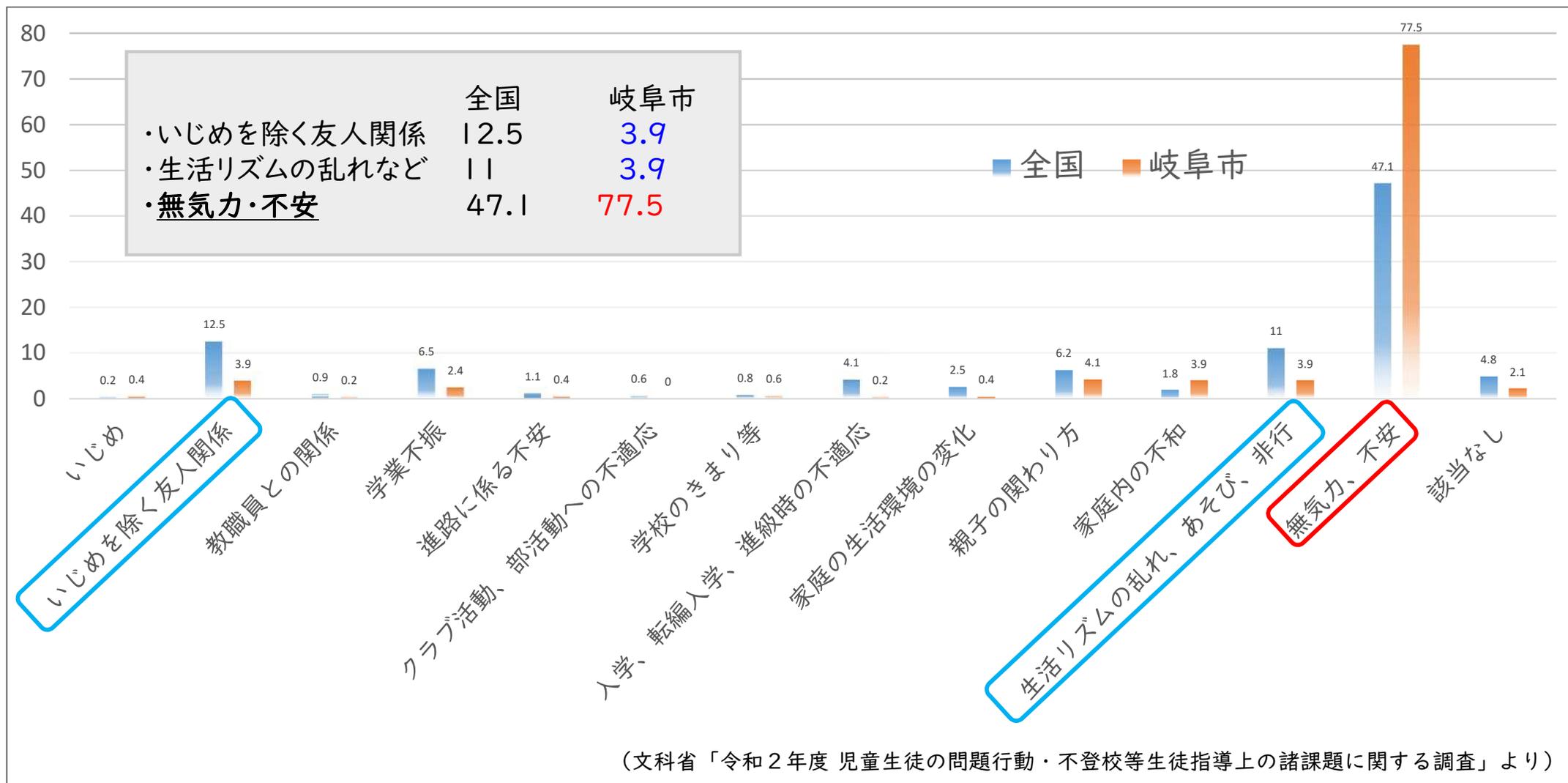
令和2年度 小学校の不登校の主な要因 (%)



2-1. 不登校の現状 ~草潤パッケージの展開~

● 中学校の不登校の主な要因

令和2年度 中学校の不登校の主な要因 (%)



2-1. 不登校の現状 ～草潤パッケージの展開～

●不登校への共通理解

- ①不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、**社会的に自立することを目指す**必要があること。
- ②児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の**積極的な意味を持つ**ことがある一方で、**学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスク**が存在することに留意すること。
- ③児童生徒の才能や能力に応じて、**それぞれの可能性を伸ばせるよう、本人の希望を尊重した上で**、場合によっては、教育支援センターや不登校特例校、ICTを活用した学習支援、フリースクール、中学校夜間学級での受入れなど、**様々な関係機関等を活用し社会的自立への支援**を行う。

(令和元年10月 文科省「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)より」)

不登校は、

- ・取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得ること
- ・多様な要因・背景により、結果として不登校状態になっているということ
- ・その行為を「問題行動」として判断してはならないこと
- ・「不登校児童生徒が悪い」という根強い偏見を払拭すること

(平成29年6月 文科省「小中学校 学習指導要領解説 総則編」より)

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●草潤中学校のコンセプト「学校らしくない学校」

ありのままの君を受け入れる新たな形

個に応じたケアや学習環境の中で、心身の安定を取り戻しつつ、新たな自分の可能性を見出す



草潤中学校
通級不登校支援
25人程度

在籍校に籍を置き、
週1日登校 50分
個別の学習相談

令和3年4月開校
不登校特例校
草潤中学校
定員40人程度

家庭学習中心
週数日登校
毎日登校

授業時間数…770時間
(一般の中学校1015時間)



草潤中学校
Online支援
25人程度

在籍校に籍を置き、
在宅で学習して
週1~2回、個別の学習相談

令和4年現在 不登校特例校の指定校数：全国21校（公立12校、私立9校）

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●草潤中学校のコンセプト「学校らしくない学校」

一般の学校と草潤中学校の主な違い

	一般の学校	草潤中学校
登下校	学校が決めた時間に登下校 【始業8:15、終業16:30】	生徒が選んだ日時に登下校 【始業9:30、終業14:35】
時間割	学校が決めた時間割 【固定的な1日の予定】	生徒が選んだ時間割 *基本の時間割は有り 【流動的な1日の予定】
学習内容	学校が決めた学習内容 【自学年の学習が基本】	生徒が選んだ学習内容 【他学年の学習も可能】
学習方法	学校が決めた学習方法 【一斉に学ぶことが基本】	生徒が選んだ学習方法 【グループ・個別に学ぶことも可能】
場所	学校が決めた場所 【教室が基本】	生徒が選んだ場所 【図書室、保健室、自宅等も可能】
担任	学校が決めた担任 【学級担任制】	生徒が選んだ担任 *2か月に1度変更希望 【個別担任制】

草潤中学校は、一人ひとりが学校に合わせるのではなく、
学校が一人ひとりの生徒に合わせる仕組み

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●草潤中学校のコンセプト「学校らしくない学校」

日課表①（家庭での学習を基本にする学びのモデル）

	50分授業	月	火	水	木	金
始業	9:30	2週間に1度程度 学習相談として登校				
WU	9:35~9:45	自分一人でウォームアップ				
1	9:55~10:45	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習
2	10:55~11:45	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習
昼食	11:50~12:15	私は、基本は、家庭で学習！ Online や電話で相談するよ。				
昼休み	12:15~12:30					
3	12:30~13:20	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	学習相談
4	13:30~14:20	Online 学習	Online 学習	Online 学習	Online 学習	学習相談
CD	14:25~14:35	自分一人でクールダウン				
終業	15:00~15:15	家庭で学習した生徒用のOnlineクールダウン				

日課表③（毎日登校する学びのモデル）

	50分授業	月	火	水	木	金
始業	9:30	始業時刻は遅いよ！				
WU	9:35~9:45	ウォームアップ	ウォームアップ	ウォームアップ	ウォームアップ	ウォームアップ
1	9:55~10:45	社会	数学	理科	英語	国語
2	10:55~11:45	英語	理科	国語	社会	数学
昼食	11:50~12:15	早く帰れるよ！ 放課後の個別の活動も相談に乗ってもらえるよ！				
昼休み	12:15~12:30					
3	12:30~13:20	国語	セルフデザイン	数学	総合	英語
4	13:30~14:20	体育	セルフデザイン	体育	総合	体育
CD	14:25~14:35	クールダウン	クールダウン	クールダウン	クールダウン	クールダウン
終業	14:35	原則として毎日登校				

日課表②（家庭で学習し、週に数日登校するモデル）

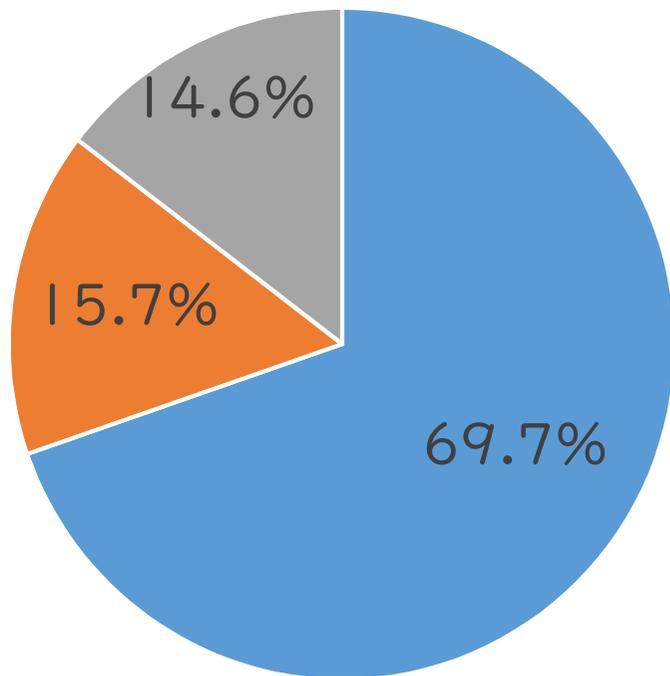
	50分授業	月	火	水	木	金
始業	9:30	1週間に2日程度の登校				
WU	9:35~9:45	Online ウォームアップ	ウォームアップ	Online ウォームアップ	ウォームアップ	Online ウォームアップ
1	9:55~10:45	家庭学習	国語	家庭学習	英語 理科	家庭学習
2	10:55~11:45	家庭学習	数学	家庭学習	社会	家庭学習
昼食	11:50~12:15	私は火曜日と木曜日に登校するよ！				
昼休み	12:15~12:30					
3	12:30~13:20	家庭学習	セルフデザイン	家庭学習	総合	家庭学習
4	13:30~14:20	Online 学習	セルフデザイン	Online 学習	総合	Online 学習
CD	14:25~14:35	自分で クール ダウン	クール ダウン	自分で クール ダウン	クール ダウン	自分で クール ダウン
終業	14:35	15:00~15:15 Onlineクールダウン				

- 生徒、家族と相談して決めます。
年度途中の変更もOK！
- 家庭で学習した日でも、放課後にOnline等で、その日の学習を先生が確認できれば、出席扱いとする。

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●開校1年目の出欠席の状況

令和3年度 年間総出席率



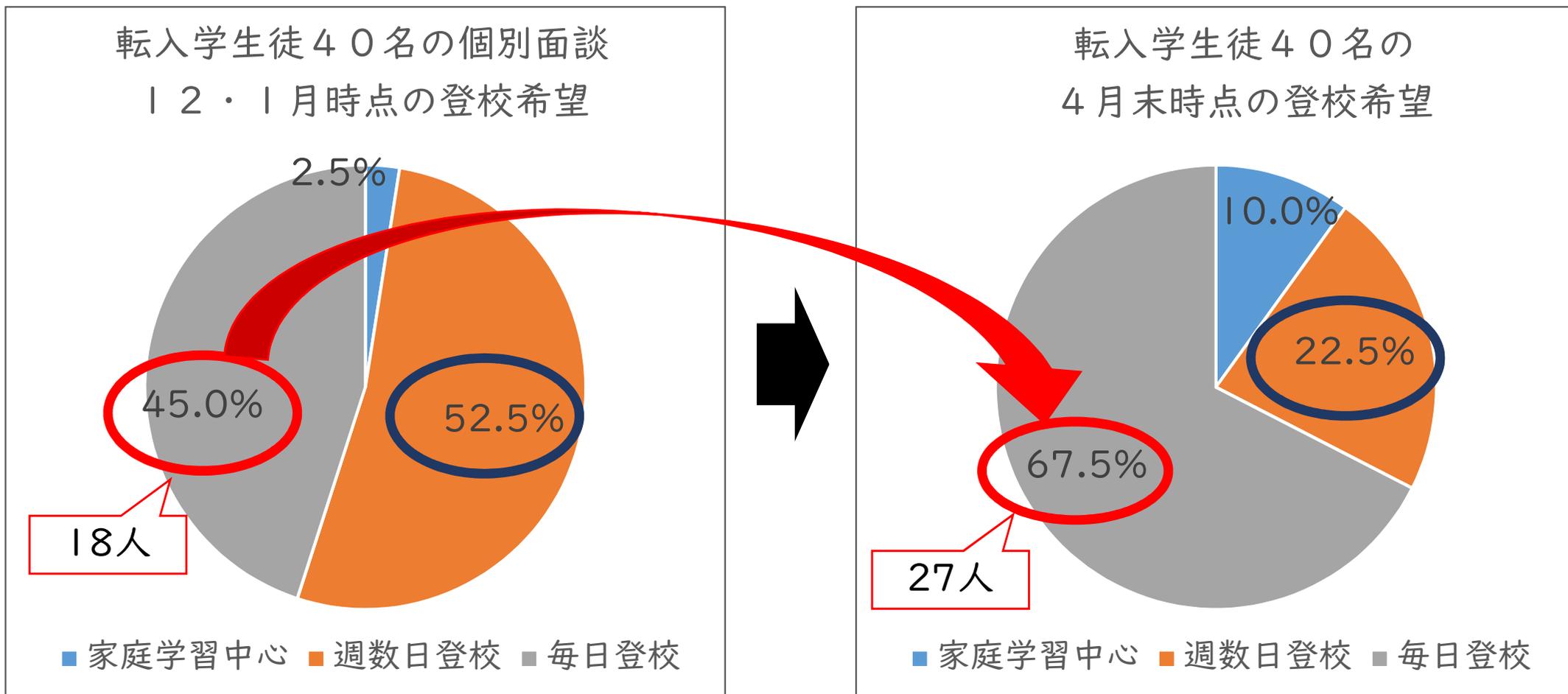
■ 登校 ■ 出席扱い(オンライン学習等) ■ 欠席

- ・平均登校率 **69.7%**
(1日平均28人/40人登校)
 - ・Online学習等の出席扱い **15.7%**
- 合計 85.4%が出席(扱い)**

一方、登校やオンライン学習等を渋っている生徒の学びを保障するために、専門家の助言等を踏まえながら、**個別支援の一層の充実**を図る。

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●開校1年目の登校スタイルの希望の変化



入学後に「毎日登校してもいい」「学校へ行きたい」と考える生徒が増加したことは「**学校への安心感**」の現れ

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●草潤中学校の生徒アンケート

【生徒アンケートより】（令和4年2月実施）

	質問	生徒
①	学校は、あなたのありのままの姿を認め、その良さを引き出すことを大切にしていますか？	4.42
②	学校は、あなたの思いを大切に行事や授業などを行っていますか？	4.40
③	学校は、前の学校と比べて楽しく生活できていますか？	4.75
④	学校の活動で、地域や社会と関わることの良さを感ずることがありましたか？	4.11
⑤	学校は、あなたの保護者と相談しながらあなたの学校生活を応援していますか？	4.55

※回答を5段階評価に換算して表示

草潤中学校の生活・学習に対して **80%～90%の満足度**

生徒の主な意見

- ・学校が初めて**楽しい**と思った。
- ・草潤中学校は**自由で安心感**がある。
- ・自分の**興味あること**を詳しく教えてもらえた。
- ・気楽に**自分の好きな場所**で、**自分のペース**で学習ができる。
- ・**新しい友達**ができ、嬉しかった。
- ・自分のしたいことを**肯定**してくれた。

など

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

●草潤中学校の教職員アンケート

【教職員アンケートより】（令和4年7月実施）

これまで不登校だった生徒が草潤中学校に登校して学校生活を送ったり、ICT等を活用しながら学びに向かったりすることができるようになったのは、なぜだと思いますか？

- ・ 学び方や1日の過ごし方を自分で**選択**できるシステムだから。
- ・ 教室で受けなくても良くなったから。**自分のペースで無理なく**授業に参加できるから。
- ・ 職員が「こうしなければならない、こうさせたい」という固定概念を崩したから。**生徒の「今は、こうしたい」という思いを聞き、強要しない**から。
- ・ 学校の中に**自分の居場所**があり、**安心**して学びに向かうことができるから。

など

草潤中学校での指導や支援について、一般の学校にも通用すると考えることは何ですか？

- ・ 一律ではなく、可能な限り**自己選択**の場を設けること。
- ・ **授業のオンライン配信、オンラインでウォームアップやクールダウン等**、ICT機器を利用した継続的な援助。
- ・ 集団の中で、**違和感**を持ったり、**やらされていると感じる子、歩調を揃えたくてもできない子が**います。そういう生徒を見逃さず、**まずは教師が気にかけてあげる**ことが大切。

など

2-2. 草潤中学校の取組 ～草潤パッケージの展開～

草潤中学校の教育を支えるキーワード



選択

多様な学びの保障
(生徒が選んだ学習内容、場所等)



支援

学力の向上、個性の伸長
(個別の学習・支援計画等の活用)



受容

生徒と教職員との対話
(個別担任制、ウォームアップ、クールダウン等)



草潤中学校では、生徒のありのままを受け入れつつ、統一したものを極力設けず、選択肢の中から生徒が自ら選択できるようにしている。その中で、一人ひとりの興味・関心や学習状況等に応じたきめ細やかな支援を行っている。

自己肯定感

個別最適な学びの実現

学ぶ意欲

2-2. 課題認識 ～草潤パッケージの展開～

●草潤中学校の実践のノウハウを各学校の不登校の未然防止及び不登校児童生徒への支援に活用

【草潤中学校の実践のノウハウ】



タブレットで教室の授業の生配信を視聴する様子



自分の興味・関心のある裁縫の学習に取り組む様子



地域の方に琴の演奏を教えている様子



ヘルスルーム(保健室)で課題等に取り組む様子



周りの目を気にすることなく、個室で学習できる空間



軽運動をして遊べるように卓球台が配置



クッションやテント等のある図書室でリラックス



気分転換にパズルや折り紙、ゲーム等が充実



各学校の不登校の未然防止及び不登校児童生徒への支援へ

2-3. 施策の検討における視点(1) ～草潤パッケージの展開～

●各学校の不登校の未然防止の在り方

不登校の未然防止①

「居場所づくりの場」となる学校

児童生徒が安心でき、自己存在感や充実感を感じられるようにする

- ・生命の尊厳への理解を深める「生き方の探究学習」の一層の推進
→多様な他者の生き方に触れ、自己の生き方を考える学び
- ・学級担任以外に相談できるWサポーター（個別担任）の先生を見児童生徒が選択
→児童生徒のSOSをつかみ、早期発見・早期対応
- ・児童生徒が互いのよさや違いを認め合い、共に支え合う場の設定
→共感的な学級の雰囲気醸成

支援



選択

など

受容

【草潤中学校の実践】 ～多様な他者との関わり合い～



J A 岐阜の協力により実施した野菜作りの体験



自宅の生徒とOnlineクールダウンする個別担任の先生



学習の中で仲間の頑張りを認める様子

2-3. 施策の検討における視点(1) ～草潤パッケージの展開～

●各学校の不登校の未然防止の在り方

不登校の未然防止②

「絆づくりの場」となる学校

児童生徒が主体的・協働的な活動を通して、心の結び付きを感じられるようにする

- ・日々の授業や行事等で、児童生徒の願いや思いを大切にし、一人ひとりが自分らしく活躍できる場の設定
→集団への所属感、連帯感の育成
- ・体験活動、レクリエーション、ソーシャルスキルトレーニング等の実施
→児童生徒同士の間関係づくり

選択

支援

受容



など

【草潤中学校の実践】 ～学習者主体の探究的・創造的な学び～



有志の実行委員で企画・運営したハロウィンフェスティバル

学校づくり	B 草潤ガーデン	C 地域とつながる	D 自分とくむ
川教室 平田、森、横山(中)	森教室 松村、長尾	海教室 竹村(前田)	図書室 梅澤、柳澤
内容例 季節イベント企画運営 学校の環境作り (マフクロネズミに接)	内容例 米田の管理 調理物の調理 など 全員の参画	内容例 地域のイベント 職場体験の企画 お金のつくりかた など	内容例 自主学習 歴史への探究 公民館で活動 自分で決めた 課題で進める

興味・関心等に沿って選択したテーマで、仲間と協働して学ぶ総合的な学習



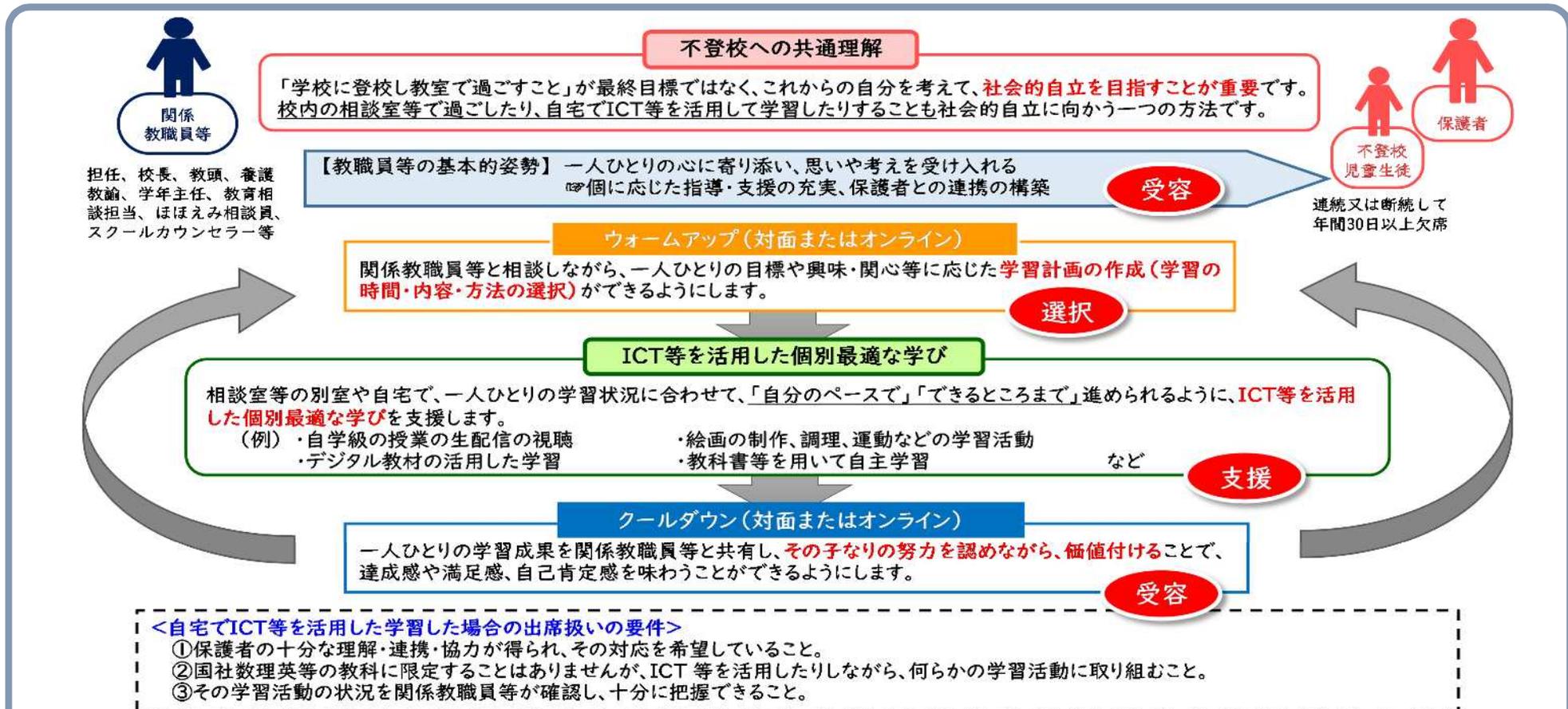
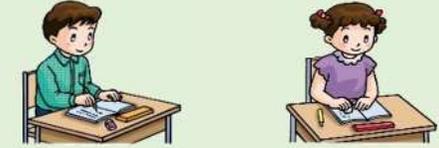
全校体育(ソフトボール大会)を通じた人間関係づくり

2-3. 施策の検討における視点(2) ～草潤パッケージの展開～

●各学校の不登校児童生徒への支援の在り方

不登校児童生徒への支援①

相談室等での別室登校や自宅でICT等を活用した学習における支援
 ・不登校児童生徒が自らの学びを選択し、個別最適な学びを実現



(草潤中学校の実践をもとに作成)

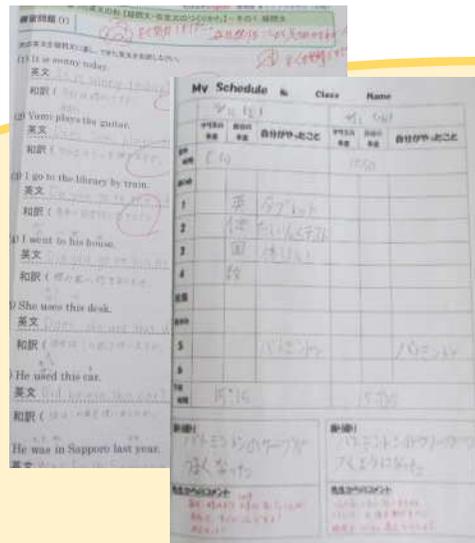
2-3. 施策の検討における視点(2) ~草潤パッケージの展開~

●各学校の不登校児童生徒への支援の在り方

【厚見中学校の相談室の様子】 ~不安な場から安心できる場へ~



パーティションで仕切られた個別学習の空間



先生と相談して時間割や学習内容を選択



不登校生徒が作成した学校案内ボード



先生と不登校生徒で作成した心温まる掲示物



特別支援学級の生徒との交流

教室に足が向かない生徒にとって、
学校の中に安心していられる居場所がある



自己肯定感や学ぶ意欲を高める



自由に折り紙や将棋等をして楽しめる工夫

2-3. 施策の検討における視点(2) ～草潤パッケージの展開～

●各学校の不登校児童生徒への支援の在り方

不登校児童生徒への支援②

草潤中学校主催で通信制高校説明会の実施

- ・草潤中学校の生徒及び保護者、市内全中学校の不登校生徒及び保護者、学校関係者が対象

草潤中学校での実習体験・研修

- ・市内のほほえみ相談員、教育相談者等が対象

教育と医療との連携による不登校対策の研修

- ・市内の教育相談者等が対象

受容

選択

支援

【草潤中学校の実践】 ～市内の不登校生徒への進路学習～



通信制高校合同説明会により、市内の不登校生徒が卒業後の進路について考えるきっかけを提供

■開催日時 令和4年6月30日 13:00～16:10

■通信制高校 8校

■参加者

①体育館での参加者

生徒84人、保護者137人、教職員7人 → 合計228人

②オンラインによる参加者

生徒76人、保護者77人、教職員15人 → 合計168人

■アンケート結果

・参加していただいた高校については、**98.1%**が「大いに満足・おおむね満足」であった。

・進路選択の参考になったかについては、**96.2%**が「大いに満足・おおむね満足」であった。

ありのままの君を 受け入れる新たな形

私は、これまでの学校らしい学校の生活や学習に疲れ、不登校になりました。

全国に20万人近い不登校の児童生徒がいます。そんな不登校の生徒のための、学校らしくない草潤中学校ができ、ここに入学することができたことで、この1年間本当に楽しく学校に来ることができました。

(草潤中学校の生徒の声)